

環境活動レポート

平成23年度版



石田興業株式会社

対象期間：平成22年10月～平成23年9月

URL <http://www.kantoshigen.co.jp/>

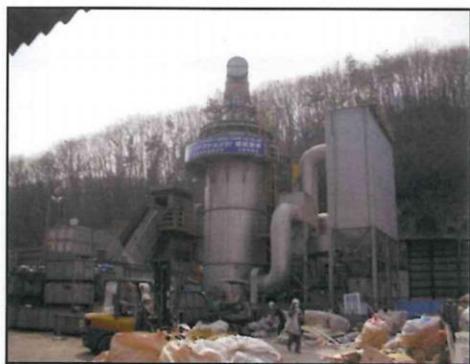
※平成23年 12月1日発行

私たちは環境問題を常に考え行動しています。

産業廃棄物量は近年における経済活動の進展、生活様式の多様化、物資的豊かさの拡大に伴い、排出される産業廃棄物の量は膨大なものとなり、エネルギーの消費、環境に影響を与えています。

当石田興業株式会社におけるエコアクション21活動の実施に当たり、私たちの環境活動が地域社会の一助として当然の責務である事、環境活動の重要性を全社員が認識する事により、持続的発展が可能な循環型形成社会の実現に向け貢献していきます。

会社概要



【対象事業所】(EA21認証)	石田興業株式会社
【代表】	山本 博
【環境管理責任者】	井上 義四郎
【担当者】	青木 良二
【連絡先】	0285-75-7511
【創業】	昭和45年9月28日
【資本金】	1,000万円
【事業内容】	産業廃棄物処分業 (中間処理:焼却、破碎、圧縮) 許可の有効期限 平成24年6月26日
【所在地】 本 社	〒321-4305 栃木県真岡市荒町5218番地
阿部岡事業所	〒321-4512 栃木県真岡市阿部岡363-3
【従業員数】	19名
【車両保有台数】	0台
【平成23年度の実績】(H22.8~H23.7)	
売上高(百万円)	435

環 境 方 針

当社は、社会との調和を基本に『感謝・協調・奉仕』の心で、環境保全への弛まぬ努力と誠実な仕事の実行に努め、持続的発展が可能な循環型社会の形成に貢献致します。この理念のもと、産業廃棄物の中間処理事業全般にわたって環境影響を考慮し、以下の指針を制定して環境経営に努めます。

《基本指針》

1. 境負荷低減のために環境方針を踏まえて、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を年度毎に設定し、環境経営システムを構築します。
2. 法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守し、産業廃棄物の適正な処理と汚染の予防を行い地球環境保全に務めます。
3. 当社の中間処理に係わる以下の項目を、環境保全の重要項目として優先的に取組みます。
①CO2排出量の削減 ②水の使用量の節約 ③廃棄物の削減
4. この方針を達成する為に、目標の設定と推進、教育・訓練の実施等、有効な施策を展開致します。
5. この環境方針は全従業員に周知するとともに、外部からの要求に対し開示いたします。

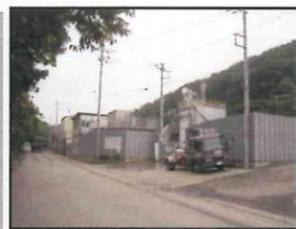
これらを継続的に推進・改善するため、環境経営システムを構築・運用し、環境方針を含めたシステムの見直しを定期的に変更します。

平成22年6月1日 改定
石田興業 株式会社
代表取締役 山本 博



【事業経歴書】

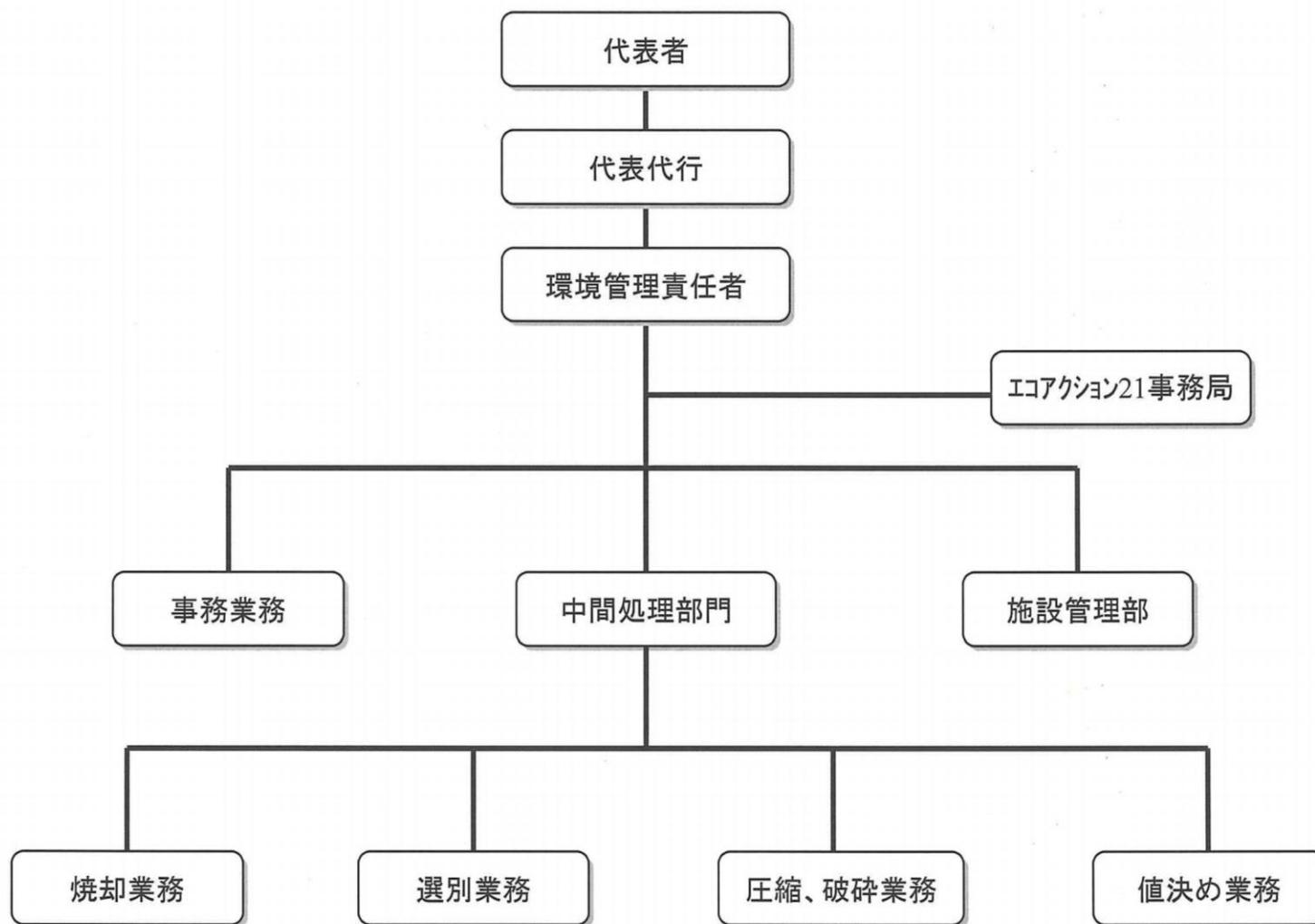
年 月 日	事業経歴
昭和39年11月	個人経営で創業開始
昭和45年9月28日	石田興業(株)として法人設立
平成9年5月14日	産業廃棄物収集運搬業 栃木県許可取得
平成14年12月	焼却施設ダイオキシン対策工事完了
平成17年3月11日	産業廃棄物収集運搬業 群馬県許可取得
平成17年3月15日	産業廃棄物収集運搬業 栃木県許可取得
平成17年3月23日	産業廃棄物収集運搬業 茨城県許可取得
平成17年3月28日	産業廃棄物収集運搬業 埼玉県許可取得
平成17年3月28日	産業廃棄物収集運搬業 さいたま市許可取得
平成17年3月30日	産業廃棄物収集運搬業 宇都宮市許可取得
平成17年3月31日	産業廃棄物収集運搬業 千葉県許可取得
平成18年9月5日	(財)地球環境戦略研究機関の定めるエコアクション21 認証取得
平成19年6月27日	産業廃棄物中間処理業 栃木県許可取得
平成22年5月15日	収集運搬業許可 廃止
	現在に至る
	賞罰なし



本 社 : 栃木県真岡市荒町5218番地
 TEL 0285-84-1161 FAX 0285-84-0981
 阿部岡事業所 : 栃木県真岡市阿部岡363-3
 TEL 0285-75-7511 FAX 0285-75-1659
 URL <http://www.kantoshigen.co.jp/>

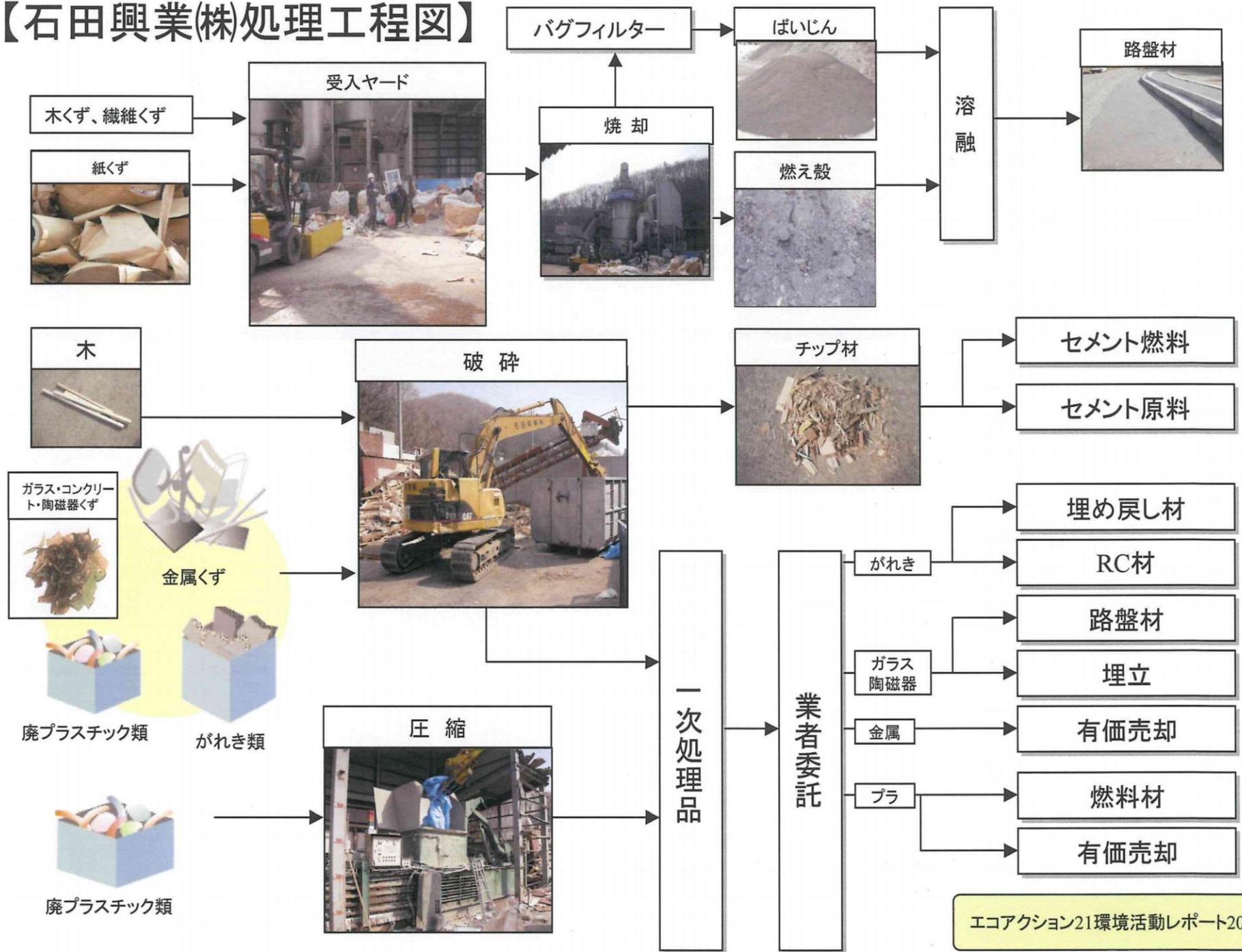
エコアクション21環境活動レポート2011

【環境組織図】



	役割と責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の統括管理責任者であり、環境方針を制定する。また、必要な経営資源を提供する。
代表代行	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の運用の経営責任者として、代表者が定めた環境方針に基づき、環境目標・活動計画等の運用全般の承認行為を行う。 ・エコアクション21の全体の評価と見直しを行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動全体を把握し、環境経営システムを構築運用する。また、その実施状況を代表代行に報告する。 ・外部からの苦情等に対応する。
エコアクション21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムに関わる内外部の連絡を司る。またEA21文書及び記録の作成維持・管理等を実施する。
事務業務	<ul style="list-style-type: none"> ・委託契約、マニフェスト伝票等の管理
中間処理部門	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の選別・施設の運転・施設の補修、管理 ・施設周辺的环境保全
施設管理部	<ul style="list-style-type: none"> ・社内施設のメンテナンス及び修繕

【石田興業(株)処理工程図】



【処理能力】

施設名	種類	処理能力(t/日)		
破砕施設	木くず	10.0t/日		
	廃プラスチック類	4.48t/日		
	金属くず	10.0t/日		
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	13.44t/日		
破砕施設	がれき類	80t/日		
焼却施設	繊維くず	4.8t/日		
	紙くず	4.8t/日		
	木くず	4.8t/日		
圧縮施設	廃プラスチック類	43.2t/日		
施設名	種類	保管面積	容量	高さ
保管施設 (処理前)	廃プラスチック類	25㎡	10.4㎡	1.25m
	木くず、紙くず、繊維くず	70.03㎡	128.51㎡	2.5m
	木くず、紙くず、繊維くず	14.95㎡	22㎡	1.48m
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	30.47㎡	40㎡	1.31m
	がれき類	56.4㎡	103.5㎡	2.5m
	金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類	6.84㎡	8.2㎡	1.2m
	木くず	14.95㎡	22㎡	1.48m
保管施設 (処理後)	燃え殻	24.94㎡	45㎡	1.8m
	廃プラスチック類	21㎡	42㎡	2m
	廃プラスチック類	139.21㎡	263.37㎡	2.5m
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	51.25㎡	96.87㎡	2.5m
	がれき類	56.4㎡	88.8㎡	2m
	ばいじん	19.14㎡	30㎡	1.57m
	木くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類	14.95㎡	22㎡	1.48m

※ 許可の有効期限：平成24年6月26日

【環境目標と実績】

●環境目的(中期目標)

	基準 (平成22年度実績)	平成23年度 基準値より1%削減(向上)	平成24年度 基準値より2%削減(向上)	平成25年度 基準値より3%削減(向上)
電気使用量	986,322kwh	976,459kwh以下	966,596kwh以下	956,732kwh以下
重油使用量	31,985ℓ	31,665ℓ以下	31,345ℓ以下	31,025ℓ以下
軽油使用量	72,662ℓ	71,935ℓ以下	71,209ℓ以下	70,482ℓ以下
廃プラのサイクル率	26%	30%以上	45%以上	60%以上
水道使用量	516m ³	511m ³ 以下	506m ³ 以下	501m ³ 以下

●平成23年度目標と実績

	基準 (平成22年度実績)	目標	実績	目標値との差	評価
電気使用量	986,322kwh	976,459kwh	946,710kwh	-29,749kwh	達成
重油使用量	31,985ℓ	31,665ℓ	29,970ℓ	-1,695ℓ	達成
軽油使用量	83,150ℓ	82,319ℓ	72,662ℓ	-9,657ℓ	達成
廃プラのサイクル率	26%	27%	35%	5ポイント	達成
水道使用量	516m ³	511m ³	680m ³	169m ³	未達成

【二酸化炭素排出量の推移】

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
CO2排出量 (kg-CO2)	464,046.79	774,445.57	644,055.55	620,218.52

【主な取組み活動】

軽油使用量削減活動

- 1) エコドライブ手順書徹底による軽油使用量削減
- 2) 機体管理及びメンテナンスによる燃費改善



廃プラのリサイクル率向上 (廃プラスチックの分別推進)

- 1) 廃プラスチック類の分別作業の徹底
- 2) チェック表による分別状況の確認



水使用量の削減活動

- 1) 水洗トイレのタンクにペットボトルを入れる。
- 2) 水の出しっぱなしに注意し、小まめに水栓を調整、適量出水の推進
- 3) チェック表による節水取組の実施と確認



従業員の環境教育活動

環境方針及び目標に対しての取組みとその背景に有る地球環境問題についての理解を深める教育を実施する。

カーボンオフセット

- 中間処理に必要な重機の燃料等は、軽油使用量削減活動によりある程度まで削減できますが、限界があります。そこで、年間のCO₂排出量を算出し、マイナス6%+1%=7%に該当するオフセット量の26トンを購入いたしました。





カーボンオフセット排出権購入証明書

法人名 石田興業株式会社

建設廃棄物協同組合は、石田興業株式会社が、当組合の提供するカーボンオフセット事業の利用により、国連が認証した温室効果ガス削減プロジェクトから得られる「認証済排出削減量」を購入し、国に無償譲渡する契約を締結していることを証明します。

記

3. 排出権購入量	26トン
4. 取得認証済排出権	
クレジット種別	CER (Certified Emission Reduction)
クレジット識別番号	IN-000-000-040-747-523~IN-000-000-040-747-548
プロジェクト番号	0000471
プロジェクト名	インド/タミルナドゥ州 複数 PJT を纏めた風力発電プロジェクト (56.25MW) [56.25 MW bundled wind energy project in Tirunelveli and Coimbatore districts in Tamilnadu, India.]

以上

平成 23 年 1 月 17 日
 東京都中央区京橋 2-6-6 森ビルビル
 建設廃棄物協同組合
 理事長 齋藤 俊吉



【環境取組み結果の評価】

二酸化炭素の排出抑制のため、電気と重機等の燃料使用量を削減していくことを目標として活動を行ってきました。節電意識や重機のアイドリングストップ等の活動が定着してきたことにより、電気、燃料(軽油等)の使用量は削減しました。また、節水についてもトイレ流水量の調節や啓蒙に取り組んできましたが、震災による設備故障や破損に伴い、雨水の利用が十分に出来なかったことや漏水の発生が重なり、前年度よりも増加しました。

【環境関連法規の違反の有無】

H22年10月～H23年9月までの期間における環境関連法律・条令等をH23年10月1日にエコアクション21事務局及び環境管理責任者が確認した結果、違反はありませんでした。

※主な環境関連法令・条例等は別途『法規制その他の要求事項管理台帳』に参照。

【処理料金】

・別途お見積り致しますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL.0285-75-7511 FAX.0285-75-1659



【受託した産業廃棄物の処理量】

平成23年(平成22年10月～平成23年9月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	数量	
収集運搬	廃プラスチック類		0.00	
	紙くず		0.00	
	木くず		0.00	
	繊維くず		0.00	
	金属くず		0.00	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		0.00	
	がれき類		0.00	
収集運搬量合計			0.00	
中間処理	廃プラスチック類	破碎・圧縮	2,346.83	
	紙くず	焼却	990.58	
	木くず	破碎・焼却	3,686.59	
	繊維くず	焼却	75.44	
	金属くず	破碎	1,608.42	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	破碎	3,132.84	
	がれき類	破碎	7,092.98	
	うち再資源化等	廃プラスチック類	破碎・圧縮	328.16
		木くず	破碎	2,787.03
		金属くず	破碎	1,580.59
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	破碎	2,328.01
		がれき類	破碎	5,773.33
	再資源化等計			12,797.11
	中間処理量合計			18,933.68
最終処分	廃プラスチック類	埋立処分	0.00	
	紙くず	埋立処分	0.00	
	木くず	埋立処分	0.00	
	繊維くず	埋立処分	0.00	
	金属くず	埋立処分	0.00	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	埋立処分	0.00	
	がれき類	埋立処分	0.00	
最終処分量合計			0.00	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラスチック類	安定型埋立(委託)	2,018.66
		木くず	管理型埋立(委託)	41.25
		金属くず	安定型埋立(委託)	25.99
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	安定型埋立(委託)	804.83
		がれき類	安定型埋立(委託)	2,710.37
		最終処分計		5,601.09
	再資源化等	廃プラスチック類	原料化等	328.16
		燃えがら	固化 路盤材使用等	184.54
		金属くず	金属回収 焙成	1,580.59
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ボード原料化等	2,328.01
		がれき類	破碎 路盤材使用等	4,382.61
		再資源化等計		8,803.90
	中間処理後処分量計			14,405.00